

参加して

理を行っ
心かげ努
フティー
「と」話

▽ロゴマーク作成―鎌
溝遠治郎
▽キャッチフレーズ



166人が受講した。
説明会では、標準歩

元起工測量及び3次元
設計データ作成費用見
積参考資料の改定、低

トランスフォーメー
ション)などについて
講話した。



し、発行事業を
として、取引生
められたとき

22年度事業計画など決定

県技術士会が総会開催

沖縄県技術士会(大城政人会長)の第50回定時総会が那覇市の(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会会議室で開かれ、2021年度の事業報告と決算、22年度の事業計画案と収支予算案などを審議し、原案通り承認した。また、役員補充で幹事だった城間太基氏が監査に就任、城間氏の後任に宮城桐吾氏が就くことを報告した。



決算や事業計画などを審議した

大城会長は、技術士の地位向上のため新しい取り組みを進める必要があるとし、JIC A(独)国際協力機構)との連携や県測コンと共催のセミナーなどを始めたほか、Web活用の講習会・勉強会、建設部門以外の会員が活躍できる場の設置なども考えているとした上で「沖縄だけではなく、ウチナンチュがアジア・太平洋地域の平和と経済発展

のため何ができるかということも真剣に考え、日本と海外の架け橋になれるようなエンジニアを育てる会にしていきたい」と述べた。
22年度の事業計画では、①技術士試験の実

電管協が沖総局管繕工事説明会

22年度の改正内容など学ぶ

(一社)沖縄県電気管工事事業協会(松島寛行会長)は7月1日、那覇市の電管協会館で沖縄総合事務局が2022年度に発注する管繕工事の総合評価落札方式等に関する説明会を開催した。写真。入札制度の改正内容や総合評価での注意点などについて周知を図ることを目的に開かれたもの。同局開発建設



部管繕監督保全室の宮本英樹室長、平川快政室長補佐、喜屋武悟室長補佐が講師を務め、入札参加にあたっての注意事項などを解説した。

説明会には会員企業の担当者ら30人が参加。冒頭あいさつした松島会長は「多様化する入札制度改革について知識を深め、会社の発展だけでなく、個人のスキルアップにも役立ててほしい」と呼び

掛けた。
説明会では、総合評価落札方式の概要と留意点、管繕工事・業務の発注情報のメール配信サービス、管繕工事における働き方改革について解説。22年度管繕工事ガイドラインの主な改正内容として、特定JVの代表者以外の構成員の配置予定技術者については「同種工事の施工経験を求めない」とされていることなどを紹介した。

施の会報誌発行やホームページの活用、支援事業のPRなどの広報事業③現地視察研修や自主研究支援、講演・講習会の開催など研修活動④(公社)日本技術士会との連携などを展開する。

太名嘉組の名嘉太助社長と安谷屋恵三専務取締役は6月29日、浦添市役所に松本哲治市長を訪ね、子育て支

援に役立ててほしいと寄付金100万円を贈呈した。同社の創立50周年記念事業の一環として行われたもので、

名嘉社長から松本に目録が手渡された。名嘉社長は「たちが将来に希望を持つには、其生活ができる必要。浦添市内のして力になれ」と話した。



名嘉社長から松本に目録が手渡された。名嘉社長は「たちが将来に希望を持つには、其生活ができる必要。浦添市内のして力になれ」と話した。